

自敬寺寺報

暁雲

No.110

発行所 自敬寺
発行人 服部隆志
〒532-0006
大阪市淀川区
西三国2-12-43
TEL06-6391-5348
FAX06-6391-4567
jikeiji392@gol.com

<https://www.jikeiji.com>

お施餓鬼のお知らせ

謹啓、小暑の候、コロナ禍、三度の夏が巡ってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。心配事は尽きませんが前向きに考えてまいりたいと思います。

毎年恒例の施餓鬼会は今年も以下の対策を講じて開催いたします。どうぞご参詣下さいますようご案内いたします。



合掌

記

七月十五日（金）

午後二時～四時

○二時～お施餓鬼法要（戒名奉読）

○三時半 法話

○同封の戒名用紙をお持ちください。間違いない追加あれば修正してください。

お施餓鬼法要開催にあたっての主な対策

換気・消毒・座席間を広げ、時間短縮、随時焼香の対策を講じますので、以下の方法でご参詣下さい。

- 法要の時間内に参詣し、焼香をしてお帰りになる
- 法要の前や事前に受け付けを済ませ、法要には参加しない
- いつもどおり法要に参加する等。（途中の入退室も自由にできます）
- ・ 来られる方にはマスク着用をお願いしています。お寺でも用意しております。
- ・ 発熱・咳など風邪症状のある方、体調の悪い方の参詣はご遠慮ください。



【お施餓鬼法要の内容】

- 皆様のご先祖の供養をいたします。
- 飢えや争い恨みなど苦しみの世界に堕ちている霊を供養します。
- ウクライナ戦争・新型コロナウイルス犠牲者・災害、事故、犯罪等、不慮の死を遂げられた霊の冥福を祈ります。
- 供養の功德を極楽浄土におられる皆様のお先祖に振り替え捧げます。
- 餓鬼壇・お塔婆に聖水を注ぎ、施餓鬼の真言（マントラ）を唱えます。
- ご供養を志す皆様とご関係の皆様のご長寿とお幸せを祈念します。
- コロナ禍の状況の改善と、見えない不安を取り除く法要といたします。
- 当日お配りいたします「施餓鬼旗」は病氣平癒・無病息災・人心安寧の願いを込めたものです。仏壇やタンスの上などに置いてくだされば有難いです。一定期間が過ぎれば、お寺にお納めください。



おせがきの由来

● 餓鬼に施すと書いて施餓鬼といひます。

● 主人公の阿難尊者(アーナンダ)は釈迦十大弟子の一人でお釈迦さまに生涯付き従い、多聞第一と言われ經典編纂の中心人物です。

● 仏教初代はブツダ(お釈迦さま)、二代目は摩訶迦葉尊者(マハカッサバ)、そして阿難尊者が三代目です。

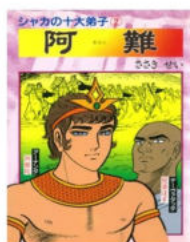
● 阿難が夜に坐禅をしていると「餓鬼」が現れ、飲食の施しを乞いました。聞き入れなければ我らの仲間にする!と脅したのです。餓鬼とは強欲で嫉妬深くすぐ怒り、頭脳明晰でも智慧の無い人の事で、子どもの事ではありません。

● その餓鬼が貪(むさぼり)瞋(いかり)痴(おろか)の三毒に心を奪われた時、欲深になり、暴言を吐き、暴力をふるい、悪態をつきます。餓鬼は我が心の内より生ずです。

● 驚いた阿難はお釈迦様に教えを乞いました。釈迦は「一椀の食べ物も供養でも、その布施の心は無量の食べ物となり、餓鬼はもとより供養もされない一切の生けるものも救うことが出来る」と説かれました。阿難は供養を行い餓鬼を救いました。これが施餓鬼法要の始まった由縁です。

● そして法要の功德が私達のご先祖にまで届き、更に三界萬霊の諸霊までも救われますように、と施餓鬼では塔婆回向(とうばえこう)を行い祈願文を唱えています。

● 古来インドでは布施する人をダーナと言ひ、漢字に音写され檀那と書きます。日本では家族を養う人を旦那さま、布施をしてくださるお宅を檀家さん、西洋ではドナー(提供者)の語源となりました。



● 古来インドでは布施する人をダーナと言ひ、漢字に音写され檀那と書きます。日本では家族を養う人を旦那さま、布施をしてくださるお宅を檀家さん、西洋ではドナー(提供者)の語源となりました。



この新聞は再生紙を使っています

永代供養 合祀仏塔

(お釈迦さまに抱かれて)

○ 永代位牌が本堂に祀られます

○ 芳名板にお名前が刻まれます

○ 過去帳に記載日課供養します

○ 年三回塔婆供養をいたします

○ 縁者がなくても供養されます

○ 墓整理で合祀の方もあります

○ 生前依頼は現在約六十名です

○ 維持費・管理料等は不要です

○ ご遺骨はお釈迦様の下に

土に帰るよう埋葬されます

○ お一人様三十万円が必要です

勸募は終了しましたがエッチングガラス、灯籠、過去帳位牌の募集は継続しています。今まで同様に本堂志納の合計額(貯金箱、写経含む)が合算されますのでご検討ください。貯金箱、写経も引き続きお納めいただきます。本堂にご寄進いただいた方1300人のご芳名を掲載しています。どうぞよろしく願いいたします。



編集後記

○ コロナ禍、3度目のおせがきが開催できることに感謝です。

○ スリランカ(旧セイロン)は、日本に対して、戦後の賠償請求の権利を放棄されています。

今も若い人たちがおじさんたちのその判断を語り継ぎ、誇りに思っておられるとのことです。日本人こそ忘れてはならないことです。

○ 小学2年生が町探検でお寺に来まし

た。昔の話、この町の素敵なところを話しました。

○ 二十年にわたって様々なボランティア活動で活躍したワゴン車から来日して困っておられる方々に野菜を運んだり、岩手県の被災地に「まけない象」を引き取りに行ったりと活躍してもらいます。ワゴン車の余生は誰かの役に立って輝いています。

○ 被災地(協働センター)に寄付しました。ウクライナやロシアから来日して困っておられる方々に野菜を運んだり、岩手県の被災地に「まけない象」を引き取りに行ったりと活躍してもらいます。ワゴン車の余生は誰かの役に立って輝いています。



○ 護持会費をご送金くださり有難うございました。受領書を同封しています。ご査収ください。

住職 九拝

スリランカ ジャヤワルダ大統領の発言

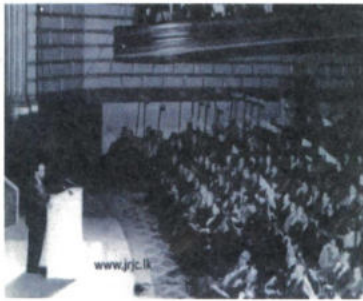
「月間インド」より転載

日本は仏陀の教えによって救われた。

野生司香雪画伯顕彰会会員、日印協会参与 宮原 豊

憎悪は憎悪によって消え去るものではなく ただ慈悲によってのみ消え去るのである。

敗戦後の東京裁判でインド人パール判事がただ一人「日本無罪論」を展開されたことは比較的好く知られているのに対して、1952年に日本が国際社会に復帰する前年の9月6日にサンフランシスコ講和会議の場で「日本を救った」と言われる演説をしたセイロン(今のスリランカ)代表のジュニウス・リチャード・ジャヤワルダナ大蔵大臣(当時)の名前を知っている人は少なくなっています。最近のアンケート調査では98%の日本人が知らなかったと言っています。



22歳のJR ジャヤワルダナ。講和会議で彼が演説しているところ
(JR Jayewardena Centre より)

「憎悪は憎悪によって消え去るものではなく、ただ慈愛によってのみ消え去るのである」と仏陀の言葉を引用しつつ、アジアにおける日本の尊厳ある立場を述べた上で、日本に対する賠償請求権を放棄することを言明しました。その時会場はしばらく静まり返った後に大喝采が続き、結果として数ヶ国を除き49か国が講和条約に署名し、日本はついに国際社会に復帰したのでした。ソ連の思惑は日本の分割統治であったと言われていました。後に第2代スリランカ大統領となるジャヤワルダナは、同じスリランカ人のダルマパーラが日本の仏教界・仏教徒と深い絆で結ばれていたことをよく承知しており、またジャヤワルダナ自身の経験からも日本や日本人が一方的に裁かれるべき罪人であるはずはないと認識していたことによります。日本人であるならばスリランカのジャヤワルダナ大統領に対する感謝の念を忘れることが出来ません。日本は明治以降の仏教文化を底流としてインド、スリランカ、他のアジアの人々と相互理解を深めましたが、野生司香雪もそこに連なり、「釈尊一代記」の壁画として結実しているのです。

ダルマパーラの活動を支えた仏僧の一人は、インド共和国の初代法務大臣アンベードカル博士に「仏陀の教え(ダンマ)」を説いた方ですから、ダルマパーラは現代インドの仏教界に今も大きな足跡を残しています。そのインド仏教界は佐々井秀嶺師により、導かれております。昨今、インドは世界の様々な分野で存在感を増し、まさに大国として羽ばたこうとしています。2500年前にインドで興った仏教の世界宗教としての普遍性は、世界で活躍するインド人にとってさらに大きな意味を持つものになると考えられます。



公益財団法人 日印教会 会報誌 2020年10月号

講和会議は敗戦国・日本の独立を認めるかどうかを決する正念場でしたが、米国を中心とする講和条約案に対し、ソ連は日本独立を制限する対案を提出し、中国共産党の出席を求めるなど講和会議は紛糾していました。そのような中を、ジャヤワルダナは「日本は自由であるべき、占領を解いて直ちに独立を回復させるべき」とし、

特集コラム ブッダの智慧

ロシアがウクライナに侵攻して四か月、まさか二十一世紀の今、武力で他国を侵略する国が現れるとは。でもこれが現実！。日本も他人事ではなく、憲法九条に自衛隊を明記し、領土と国民を守る意思を示さなければならぬという議論になっていきます。中南米に「コストリカ」という共和国があります。軍隊を持っていない国、戦争をしないと云う平和憲法がある点では日本と同じです。国民が戦争を仕掛けられるはずもないのだと自信を持って暮らしている理由は「侵略されないような努力をずっとしてきていること」「周辺国からも平和の国として認められていること」などがあります。米国の基地さえ拒否して



いるというのです。日本はそうはいきません。第二次世界大戦後から現在も沖縄の基地をはじめ、全国に米軍の基地があり、それによって平和が維持され、多額の軍費を拠出することなく、経済発展してきたと言われています。左のコラムは、サンフランシスコ講和会議の一幕です。もしスリランカ代表(後の大統領)の発言がなければ、日本は東西に分割統治され、私たちの生活は今と全く違った悲惨なものになっていただことでしょう。敵か味方の議論ではなく、ブッダの智慧に救いがあると思うのです。残念ながらこの最も感謝すべき発言を知っている日本人は2パーセントだけです。

お盆の法要の予定(申込不要です。ご希望の時間にお越しください。各45分程度)

日	朝	昼	午後	夕方
8月13日(土)	9時～	11時～	13時～	17時～
8月14日(日)	9時～	11時～	13時～	17時～
8月15日(月)	9時～	11時～	※今年も法要回数を増やしています	

歩こう会 護持会主催

行先：松尾大社 お庭とアジサイ
 日時：7月5日(火) 10時半出発
 集合：阪急梅田駅 京都線 ホーム内公衆電話付近
 持物：交通費・マスク・拝観料・昼食代
 備考：申込不要
 行先変更有 8月は休み
 9月6日(火) は上方浮世絵館・
 法善寺界限ぶらりを予定



「坐禅の会」

- ・7月3日(日)
- ・8月7日(日)

16時～17時半
 15時より写経ができます



「写経の会」

- ・7月8日(金) 8月8日(月)

14時～15時
 用具は用意しています



遊行経を学ぶ-ブツダ最後の旅-

お釈迦様が晩年人々に説法された内容を読み解きます

- ・7月23日(土) 17時～18時半 18時イス坐禅
- ・会場：自敬寺 ・申込：不要
- ・会費：1,000円 (資料代を含む)
- ・講師：林侃道師 姫路常福寺住職



「まけないぞう」は
 阪神・淡路大震災後「生きが
 い協働事業」としてスター
 ト。「一本のタオル運動」で
 集められたタオルを被災者が
 ぞうの形をし
 た壁掛けタオ
 ルに変えて販
 売していま
 す。東日本大
 震災の被災地
 にも広がって
 います。
 被災者手作
 りのまけない
 ぞうを購入することによつ
 て、被災地のコミュニテイ支
 援、生きがいづくり、仕事づ
 くりの支援になります。
 売り上げの一部はウクライ
 ナ・ロシアからの避難民に届
 けている「MOUNTAIN&さ
 い便」にも使われます。



自敬寺にあります

集めてます・使用済み切手・未使用切手・寝袋
 書損じ葉書・着物(正絹)・帯・リュック・カップ
 男性用衣類(下着靴下は新品・スーツは不可)・傘
 ライター・新品タオル・ベルマーク・使い捨てひげそり



ペットの供養塔 やすらぎの碑
 ○詳しくはお尋ねください。
 ☆彼岸中日に合同供養実施



自敬寺ホームページは 「自敬寺」で
 検索出来ます <https://www.jikeiji.com/>
 右のQRコードでも読み取れます



「仏画教室」

7月8日(金) 8月5日(金) 14時～16時
 ・講師：久保田聖淳先生 (仏尚美術会会長)
 ・会場：自敬寺 ・会費：2,000円



本堂一階のバザーコーナーでは、東北・熊
 本被災地生活応援商品・地域の施設の物
 品・国際協力の物品を用意しています。ま
 た創作作品や仏画も展示しています。手作
 りマスクもあります。

すず虫が羽化しました。
 飼ってみませんか?



護持会ではAEDを設置して
 ます。簡単かつ安全に救命処置
 を行う器具です。

